

九州方言における最小語制約の 類型化に向けて

談話データを用いた初期報告

2021年6月30日

Luncheon Linguistics@オンライン

松岡葵（九州大学大学院）

本発表が対象とする現象

最小語制約

語は最小で1フットをもつ
(McCarthy and Prince 1996,
Hayes 1995: 47)

最小語制約 (Aguaruna語)



[wíka]

wi-ka

1.SG-FOC

(Overall 2007: 62 (92b))

[wíi]

wi

1.SG

(Overall 2007: 62 (92a))

母音を長音化して
1フットを形成

九州方言における1モーラ名詞の母音延長

宇久島野方方言
(中村 2019: 29)

柳川市方言
(松岡 2021: 10)

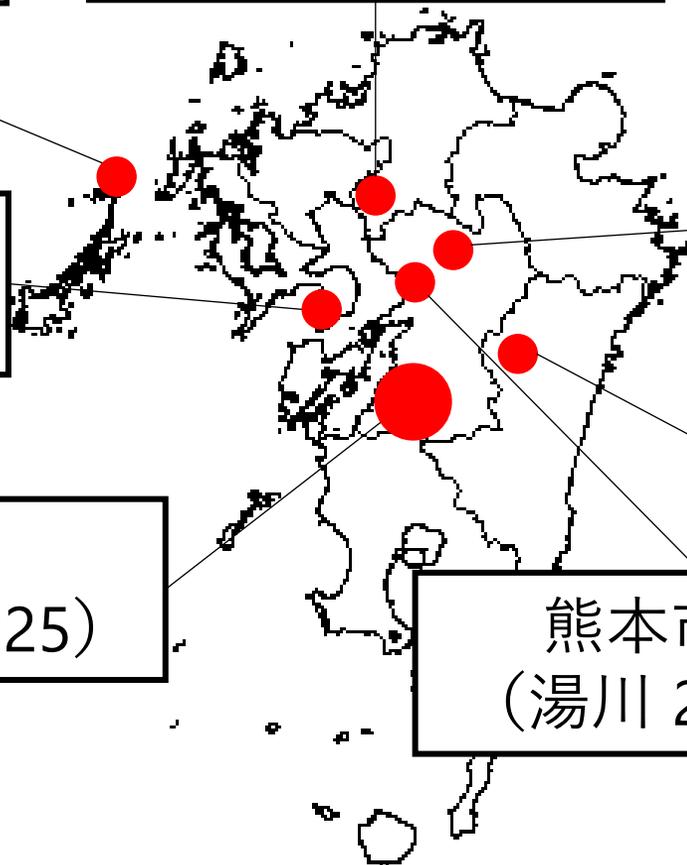
島原加津佐方言
(木部 2000: 53)

菊池方言
(藤本 2002: 25-26)

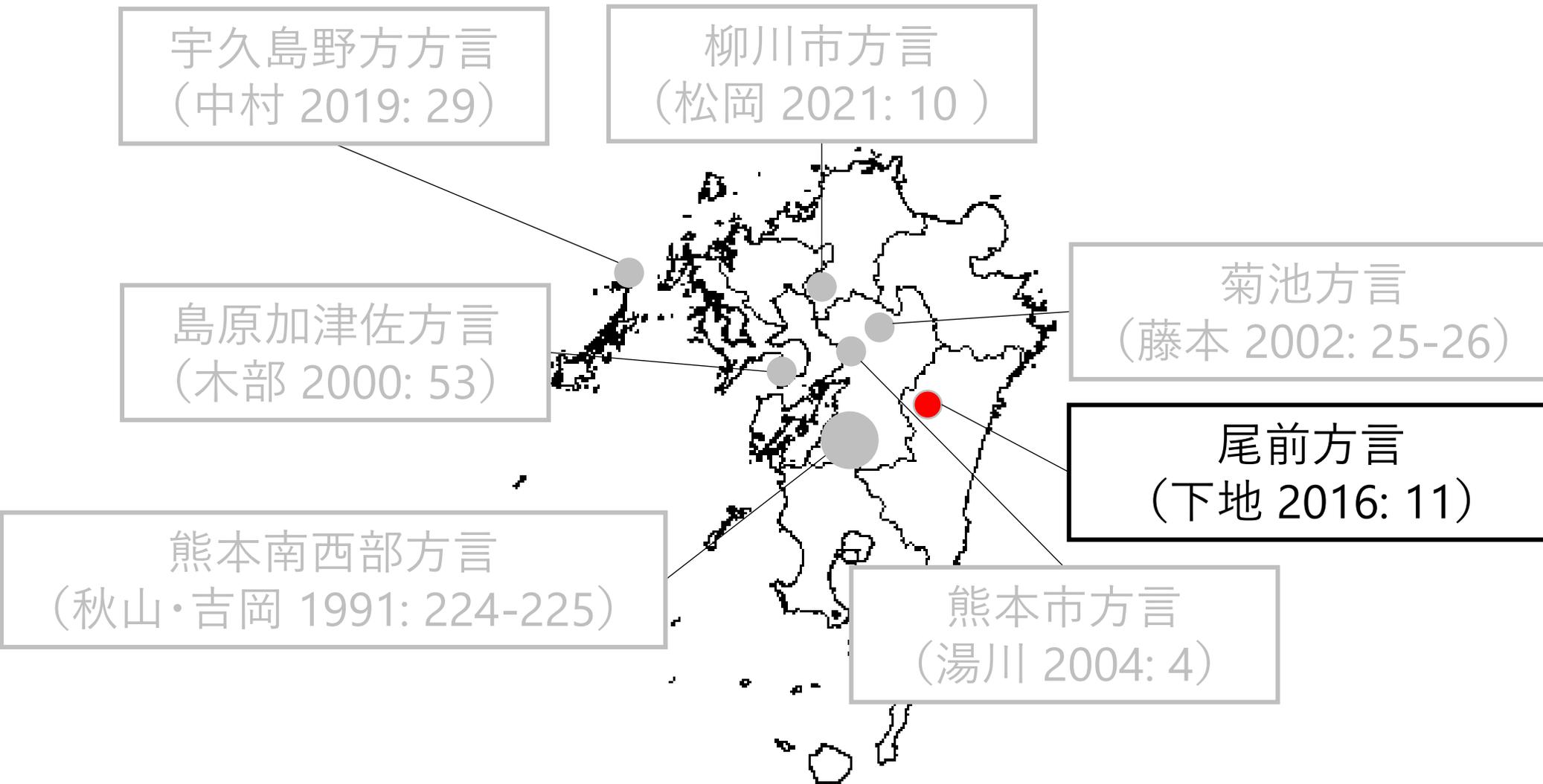
尾前方言
(下地 2016: 11)

熊本南西部方言
(秋山・吉岡 1991: 224-225)

熊本市方言
(湯川 2004: 4)



本発表の対象：尾前方言



(1), (2)では母音延長が生じている

- (1) **hii** **tukete** (2) **mee**=zyattara (3) **me**=ni kitara
火 つけて 目=だったら 目=に 来たら
「火をつけて」 「目だったら」 「目に来たら」

(3)では母音延長が生じていない

(1) hii tukete

火 つけて

「火をつけて」

(2) mee=zyattara

目=だったら

「目だったら」

(3) **me=ni** kitara

目=に 来たら

「目に来たら」

(2)のような例に着目していない

(1) hii tukete

火 つけて

「火をつけて」

(2) mee=zyattara

目=だったら

「目だったら」

(3) me=ni kitara

目=に 来たら

「目に来たら」

言語事実 1. 後続する接語の種類の影響

(1) hii tukete

火 つけて

「火をつけて」

(2) mee=zyattara (3) me=ni kitara

目=だったら

「目だったら」

目=に 来たら

「目に来たら」

コピュラ・終助詞が
後続するときは、
母音延長が生じやすい

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コピュラ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

言語事実 2. 修飾要素の有無の影響

(4) **zii=yo**

字=よ

修飾要素がないとき、
母音延長は生じやすい

(5) **hotokeisi=no zi=yo**

墓石=の

字=よ

「墓石の字だよ。」

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コピュラ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

言語事実 2. 修飾要素の有無の影響

(4) **zii=yo**

字=よ

「字だよ。」

(5) **hotokeisi=no zi=yo**

墓石=の

字=よ

修飾要素があるとき、
母音延長は生じにくい

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コピュラ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

言語事実を基にした一般化

(1) hii tukete

火 つけて

「火をつけて」

(2) mee=zyattara

目=だったら

「目だったら」

1モーラ
名詞

コピュラ
終助詞

最小語制約
ドメイン

(3) me=ni kitara

目=に 来たら

「目に来たら」

1モーラ
名詞

格助詞
取り立て

最小語制約
ドメイン

言語事実を基にした一般化

(4) **zii=yo**

字=よ

「字だよ。」

1モーラ
名詞

コピュラ
終助詞

最小語制約
ドメイン

(5) **hotokeisi=no zi=yo**

墓石=の

字=よ

「墓石の字だよ。」

修飾要素

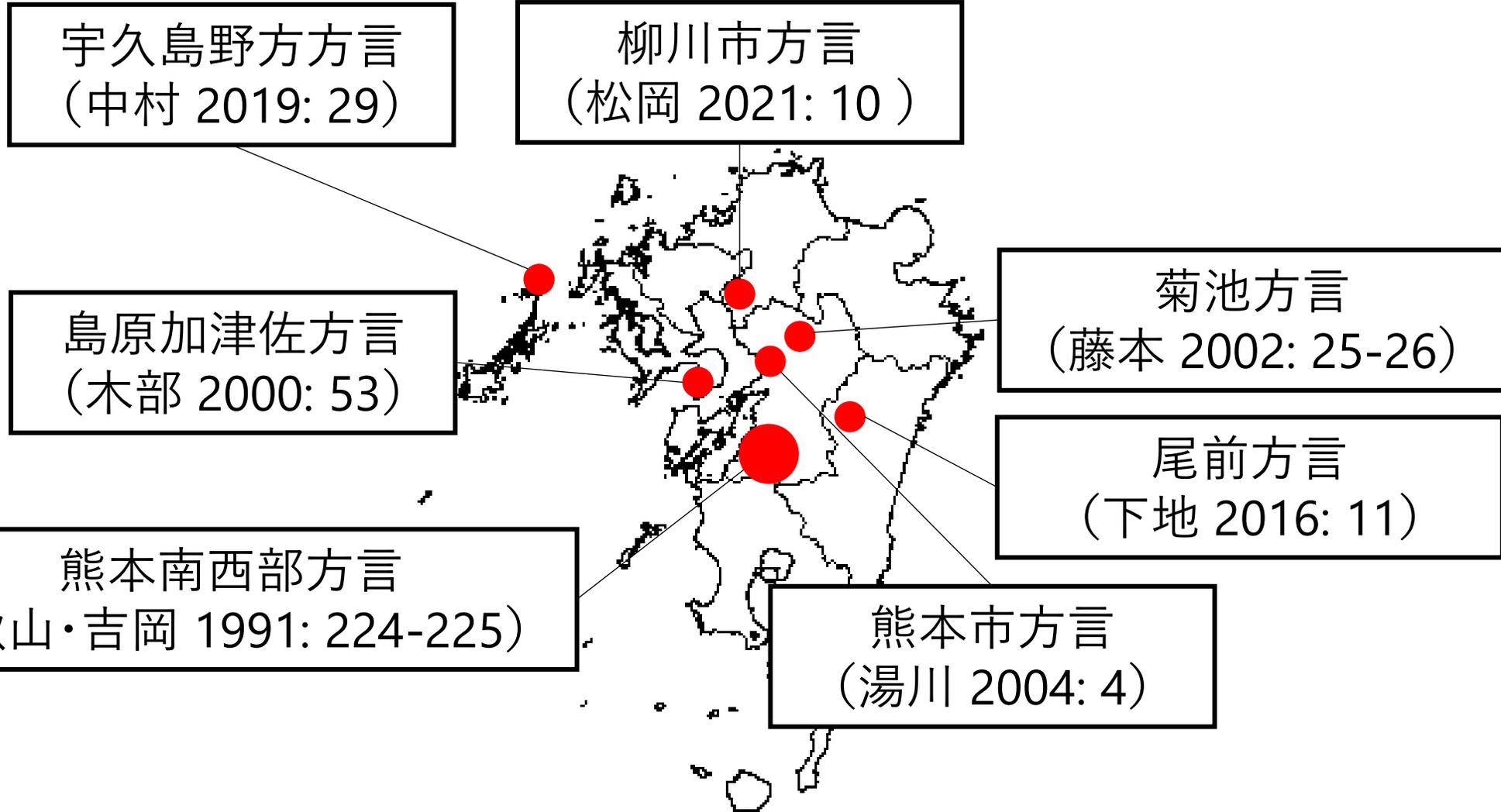
1モーラ
名詞

コピュラ
終助詞

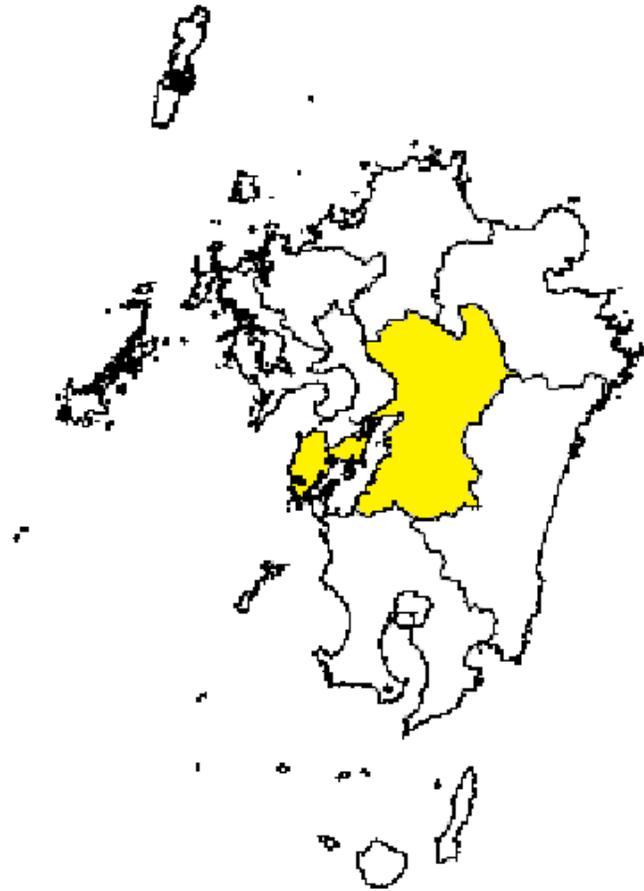
最小語制約
ドメイン

2. 先行研究

九州方言における1モーラ名詞の母音延長



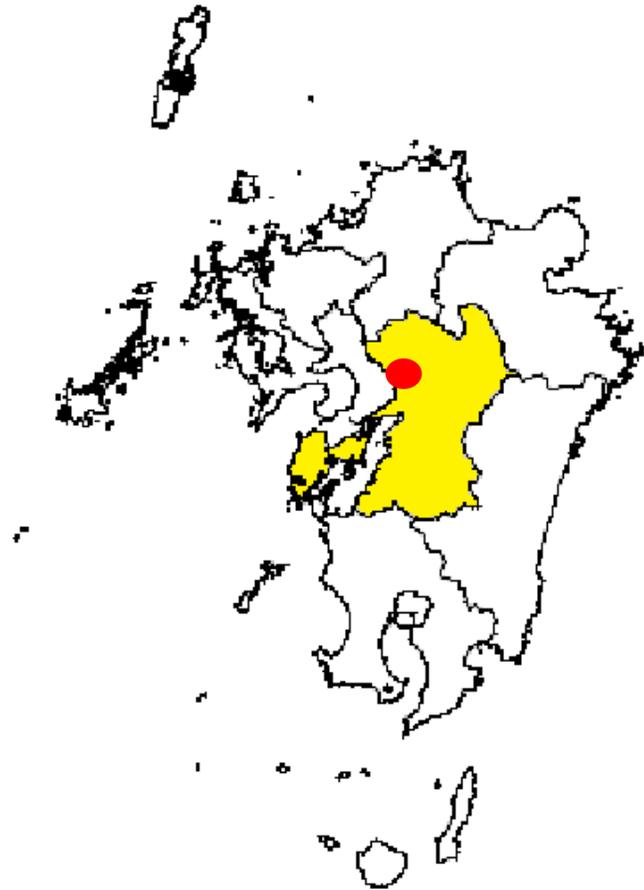
熊本方言（詳細地域不明）



秋山（1991: 226）

- ・ 少なくとも半音は長めに発音される
- ・ 助詞に前接する場合には長音化しない

熊本市方言



湯川 (2004: 4)

2モーラ以上の長さの付属語が接続するとき、
1モーラ名詞は長音化する。

to=ga

戸=が
「戸が」

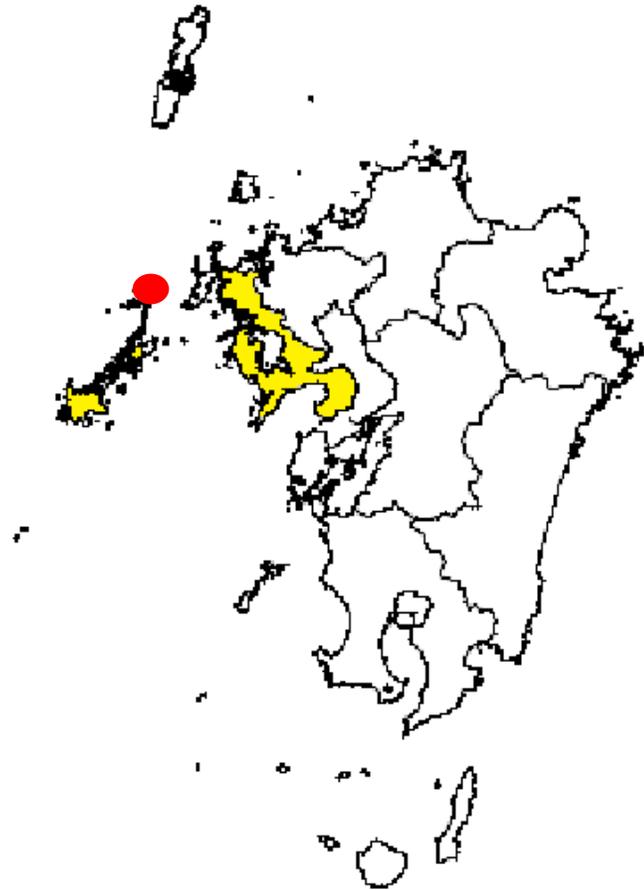
too=den

戸=でも
「戸でも」

too=bai

戸=よ
「戸だよ」

長崎県宇久島野方方言



中村 (2019: 29)

1モーラの名詞語根が単独で語として実現するとき、母音が延長される。

koo=no

子=が

「子が」

(p. 218)

tjaa=dom

茶=など

「茶など」

(p. 48)

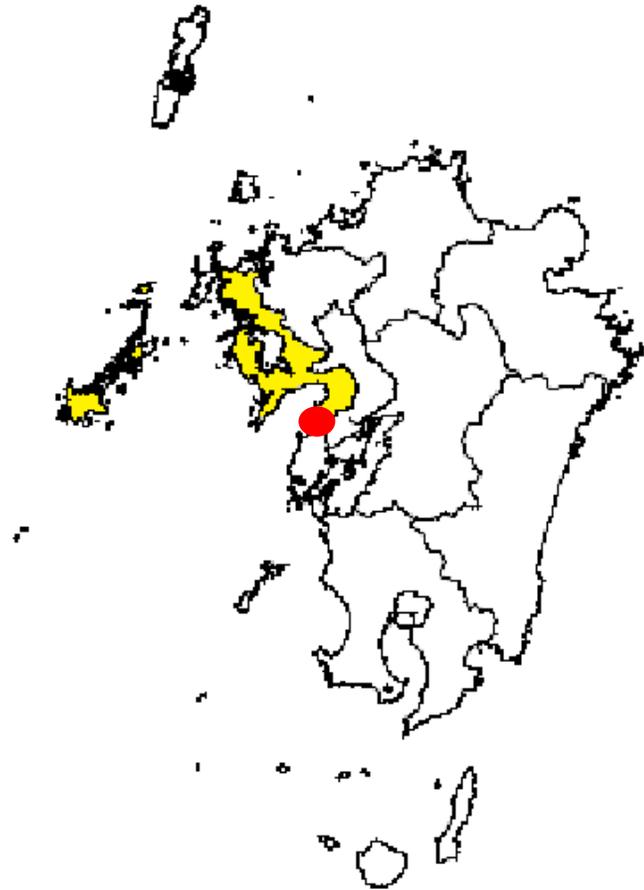
koo=tai

子=よ

「子だよ」

(p. 81)

長崎県島原加津佐方言



木部 (2000: 53)

- ・1拍語が長く引き伸ばして発音される
- ・助詞が後続する場合にも長い

kaa=ba

蚊=を

「蚊を」

(p. 52)

kaa=made

蚊=まで

「蚊まで」

(p. 52)

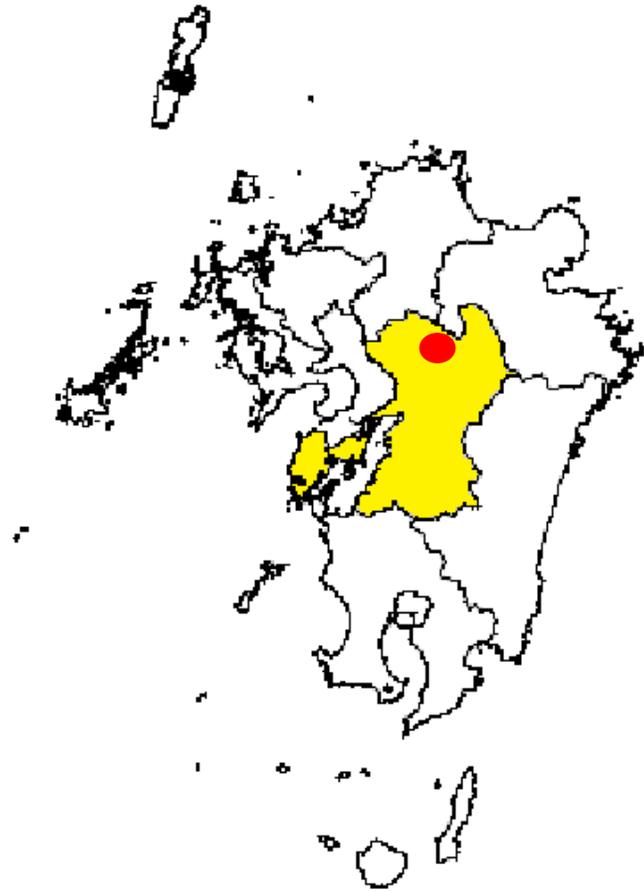
kaa=kai

蚊=か

「蚊か」

(p. 57)

熊本県菊池方言



藤本 (2002: 25-26)

修飾要素がある場合，母音延長が生じにくい。

mee=n

目=が
「目が」

migi=no me=n

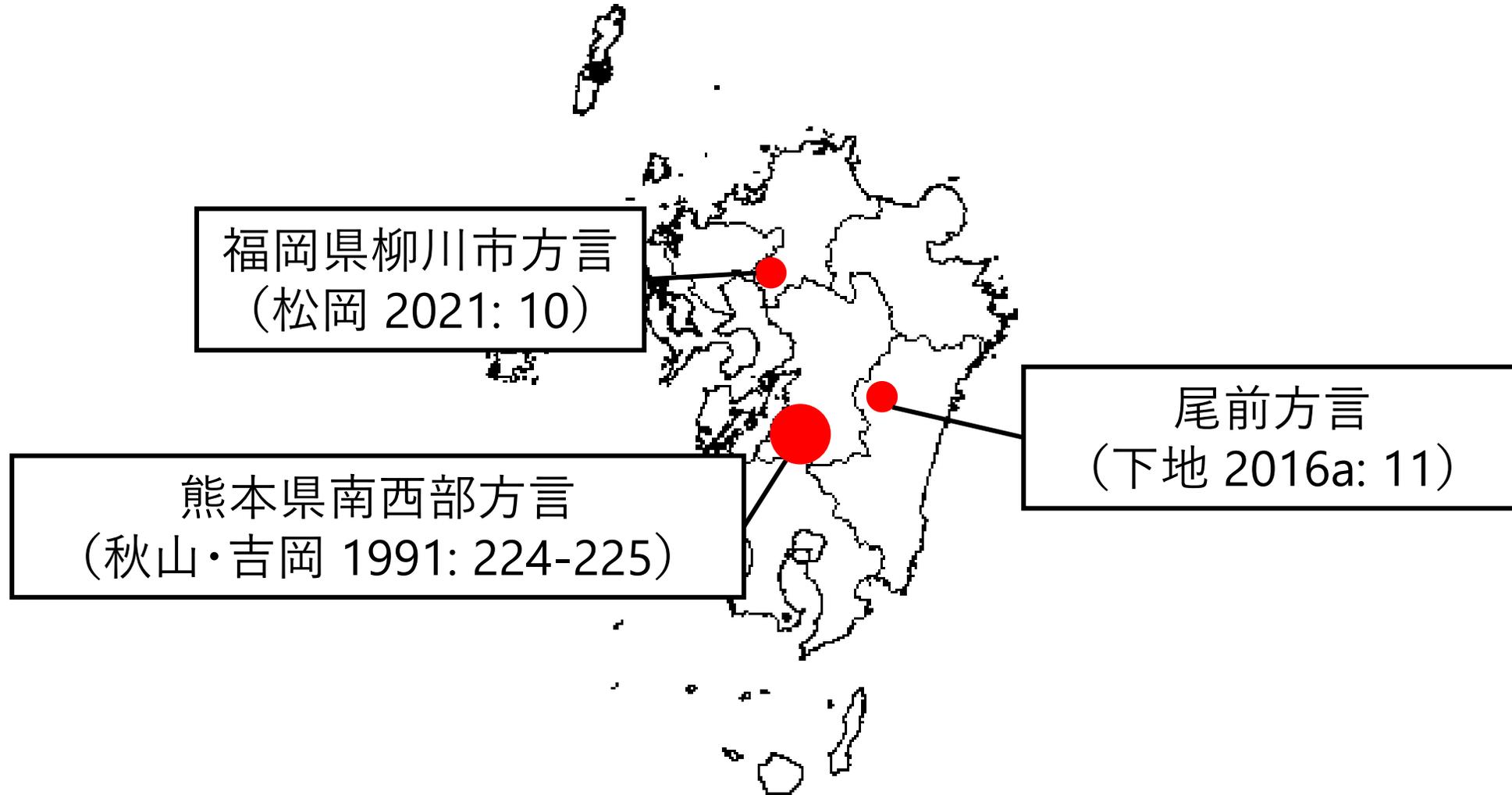
右=の 目=が
「右の目が」

各方言において影響する変数

方言例	接語の有無	接語のモーラ数	接語の種類	修飾要素の有無
熊本 (秋山 1991)	✓			
熊本市 (湯川 2004)		✓		
野方・島原加津佐 (中村 2019, 木部 2000)				
熊本県菊池方言 (藤本 2002)				✓

母音延長が生じる環境が明らかでない方言

国土地理院承認 平14総複 第149号



尾前方言の母音延長記述に必要な観点

方言例	接語の有無	接語のモーラ数	接語の種類	修飾要素の有無
熊本 (秋山 1991)	✓			
熊本市 (湯川 2004)		✓		
野方・島原加津佐 (中村 2019, 木部 2000)				
熊本県菊池 (藤本 2002)				✓
尾前 (本発表)	✓		✓	✓

これまで注目されていない接語の種類が影響

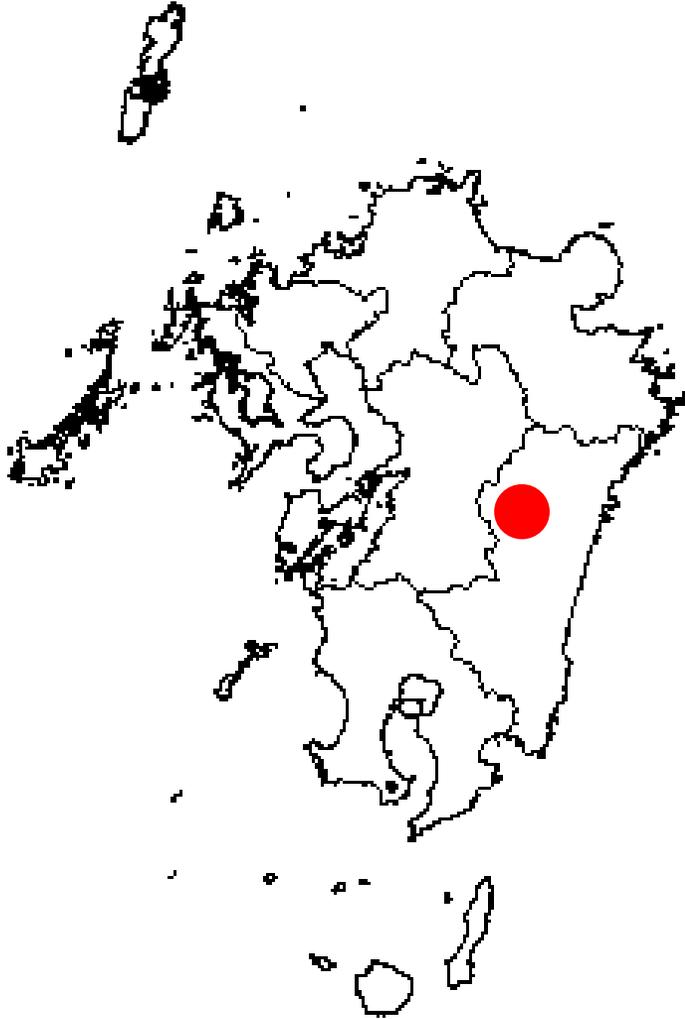
方言例	接語の有無	接語のモーラ数	接語の種類	修飾要素の有無
熊本 (秋山 1991)	✓			
熊本市 (湯川 2004)		✓		
野方・島原加津佐 (中村 2019, 木部 2000)				
熊本県菊池 (藤本 2002)				✓
尾前 (本発表)	✓		✓	✓

複数の要因が関与

方言例	接語の有無	接語のモーラ数	接語の種類	修飾要素の有無
熊本 (秋山 1991)	✓			
熊本市 (湯川 2004)		✓		
野方・島原加津佐 (中村 2019, 木部 2000)				
熊本県菊池 (藤本 2002)				✓
尾前 (本発表)	✓		✓	✓

3. 談話データ中の 1モーラ名詞の記述

尾前方言の概要



豊日方言に属するが，肥筑方言の影響もある
(上村 1983: 7)

- ・無アクセント方言
- ・ピッチパターン実現の最小単位はモーラ
(古田・小川 2016)

調査手法

- ・談話データ（約29時間）に含まれる409例を対象とする
- ・格標示などのエリシテーション調査への回答・コメントを含む
- ・談話に参加している話者：計8名
- ・短母音か長母音かの判定：発表者の聴覚印象による

考察の対象からはずした名詞

- ・形式名詞=to
- ・**mentama**「眼球」のように、一語化しているもの
- ・複合語の内部要素（e. g. oya+**ko**「親子」）
- ・長音化しているか否かが区別できない例
（e.g. 目的語のkoo : ko=o（子=ACC）かkooか区別できない）

接語の種類

- 格助詞（例：=ga 主格）
- 取り立て助詞（例：=wa 主題）
- コピュラ（例：=zyatta「だった」）
- 終助詞（例：=yo「よ」）

修飾要素

- 名詞+属格（例：[yakuba=no] hito「役場の人」）
- 連体詞（例：[kono] hito「この人」）
- 連体節（例：[kaminokeno nagyaa] hito「髪の毛の長い人」）

後続する接語の種類

格助詞（母音延長なし）

	修飾要素なし	
	×	○
格助詞	154	4
取り立て助詞	34	7
コピュラ	0	2
終助詞	0	3

(6) **me=ni** **kitara**

目=に

来たら

「目（の方）に来たら」

=ga「～が」：33例
=no「～の」：78例
=o「～を」：3例
=ba「～を」：1例
=ni「～に」：29例
=de「～で」：7例
=kara「～から」：3例



格助詞（母音延長あり）

	修飾要素なし	
	×	○
格助詞	154	4
取り立て助詞	34	7
コピュラ	0	2
終助詞	0	3

(7) **mee=ni** **gomi=no**
目=に ゴミ=が
「目にゴミが（入ったものだから）」

=no「～の」：2例
=ni「～に」：2例



取り立て助詞（母音延長なし）

	修飾要素なし	
	×	○
格助詞	154	4
取り立て助詞	34	7
コピュラ	0	2
終助詞	0	3

(8) **to=wa** simende

戸=は 閉めないで

「扉は閉めないで」

=wa「～は」：24例

=mo「～も」：9例

=bakkari「～ばかり」：1例

=dake「～だけ」：1例



取り立て助詞（母音延長あり）

	修飾要素なし	
	×	○
格助詞	154	4
取り立て助詞	34	7
コピュラ	0	2
終助詞	0	3

(9) **zii=wa dotti mukuryaa**

字=は どっち むければ

「字はどっちにむければ」

=wa「～は」：2例

=domo「～なんか」：3例

=demo「～でも」：1例

=bakkari「～ばかり」：1例



コピユラ（母音延長あり）

	修飾要素なし	
	×	○
格助詞	154	4
取り立て助詞	34	7
コピユラ	0	2
終助詞	0	3

(10) **mee=zyattara**

目=だったら

「目だったら」

=zyatta「だった」：1例

=zyattara「だったら」：1例



終助詞（母音延長あり）

	修飾要素なし	
	×	○
格助詞	154	4
取り立て助詞	34	7
コピュラ	0	2
終助詞	0	3

(11) **zii=yo**

字=よ

「字だよ。」

=yo「よ」：1例

=ka「か」：1例

=tai「よ」：1例



修飾要素の有無

修飾要素なし（コピュラが後続する場合）

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コピュラ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

(12) **mee**=zyattara

目=だったら



「目だったら」

(13) rikoo=na

利口=な

「利口な子だから」

ko=zyaru=kee

子=だ=から

修飾要素あり（コンピュータが後続する場合）

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コンピュータ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

(12) mee=zyattara

目=だったら
「目だったら」

(13) rikoo=na

利口=な
「利口な子だから」

ko=zyaru=kee

子=だ=から



修飾要素なし（終助詞が後続する場合）

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コピュラ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

(14) **zii=yo**

字=よ

「字だよ。」

(15) **hotokeisi=no** **zi=yo**

墓石=の

字=よ

「墓石の字だよ。」



修飾要素あり（終助詞が後続する場合）

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コピュラ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

(14) zii=yo

字=よ

「字だよ。」

(15) hotokeisi=no **zi**=yo

墓石=の

字=よ

「墓石の字だよ。」



後続する接語の種類が影響を与える

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コピュラ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

修飾要素の有無が影響を与える

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コピュラ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

4. 言語事実の一般化

母音延長：1フットを満たすための操作

(16) **me**=ni kitara

目=に 来たら

「目（の方）に来たら」

(17) **zii**=yo

字=よ

「字だよ。」

接語の種類と最小語制約の参照領域

(16) **me=ni** **kitara**

目=に

来たら

「目（の方）に来たら」

1モーラ
名詞

格助詞
取り立て

最小語制約

(17) **zii=yo**

字=よ

「字だよ。」

1モーラ
名詞

コピュラ
終助詞

最小語制約

修飾要素があるとき、母音延長は生じにくい

(18) **zii=yo**

字=よ

「字だよ。」

(19) **hotokeisi=no zii=yo**

墓石=の

字=よ

「墓石の字だよ。」

修飾要素は参照領域内にある

(18) **zii=yo**

字=よ

「字だよ。」

1モーラ
名詞

コピュラ
終助詞

最小語制約

(19) **hotokeisi=no** **zi=yo**

墓石=の

字=よ

「墓石の字だよ。」

修飾要素

1モーラ
名詞

コピュラ
終助詞

最小語制約

5. 他方言の検討

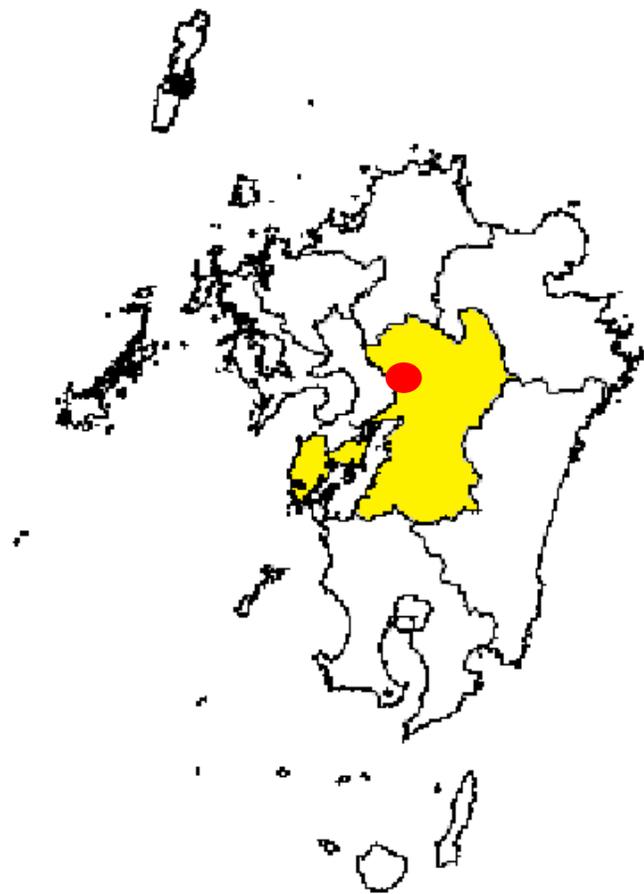
尾前方言の母音延長記述に必要な観点

方言例	接語の有無	接語のモーラ数	接語の種類	修飾要素の有無
熊本 (秋山 1991)	✓			
熊本市 (湯川 2004)		✓		
野方・島原加津佐 (中村 2019, 木部 2000)				
熊本県菊池 (藤本 2002)				✓
尾前 (本発表)	✓		✓	✓

他方言でも接語の種類が影響を与えているかも？

方言例	接語の有無	接語のモーラ数	接語の種類	修飾要素の有無
熊本 (秋山 1991)	✓			
熊本市 (湯川 2004)		✓	✓	
野方・島原加津佐 (中村 2019, 木部 2000)				
熊本県菊池 (藤本 2002)				✓
尾前 (本発表)	✓		✓	✓

熊本市方言



湯川 (2004: 4)

2モーラ以上の長さの付属語が接続するとき、
1モーラ名詞は長音化する。

to=ga **too=den** **too=bai**

戸=NOM 戸=でも 戸=SFP

「戸が」 「戸でも」 「戸だよ」

熊本市方言の例（COJADSより）

- ・COJADSモニター版の元データから1モーラ名詞を抜粋
(<https://www2.ninjal.ac.jp/cojads/index.html?targ=data>)
- ・該当部分の音声データを聞き，発表者が長短の判定
(熊本市方言の方言チェック担当者と判定は一致)
- ・歌中の1モーラ名詞は除外

熊本市方言の例 (COJADSより)

			修飾要素なし		修飾要素あり	
			×	○	×	○
接語の種類	格助詞	1	1		4	
		2~				
	取り立て助詞	1			1	
		2~				
	コピュラ	1		1		
		2~				
	終助詞	1				
		2~				

(20) **hi=no hittuku=tai**

火=が ひっつく=よ

「火がひっつくよ (って) 」

サンプル番号43_b_004-2

開始位置 22810



熊本市方言の例（COJADSより）

			修飾要素なし		修飾要素あり	
			×	○	×	○
接語の種類	格助詞	1	1		4	
		2~				
	取り立て助詞	1			1	
		2~				
	コピュラ	1		1		
		2~				
	終助詞	1				
		2~				

(21) **hutooka ki=no**

大きい 木=が

「大きい木が（あったから）」

サンプル番号43_b_004-1

開始位置 3460



熊本市方言の例（COJADSより）

			修飾要素なし		修飾要素あり	
			×	○	×	○
接語の種類	格助詞	1	1		4	
		2~				
	取り立て助詞	1			1	
		2~				
	コピュラ	1		1		
		2~				
	終助詞	1				
		2~				

(22) **mame=n** **ha=mo**

豆=の

葉=も

「豆の葉も」

サンプル番号43_b_004-1

開始位置 39380



熊本市方言の例（COJADSより）

			修飾要素なし		修飾要素あり	
			×	○	×	○
接語の種類	格助詞	1	1		4	
		2~				
	取り立て助詞	1			1	
		2~				
	コピュラ	1		1		
		2~				
	終助詞	1				
		2~				

(23) **hii=da=ken**

火=だ=から

「火だから」

サンプル番号43_b_004-2

開始位置 21560



熊本市方言でも 後続する接語の種類が影響を与えているかも

			修飾要素なし		修飾要素あり	
			×	○	×	○
接語の種類	格助詞	1	1		4	
		2~				
	取り立て助詞	1			1	
		2~				
	コピュラ	1		1		
		2~				
	終助詞	1				
		2~				

(23) **hii=da=ken**

火=だ=から

「火だから」

サンプル番号43_b_004-2

開始位置 21560

九州のN型アクセントに広くみられる文節性 (上野 2012)

(24) 鹿児島市方言（二型）のA型名詞「鼻」

[ハ]ナ	「鼻」
ハ[ナ]ガ	「鼻が」
ハナ[バツ]カイ	「鼻ばかり」
[ハ]ナ ジャ	「鼻だ」
[ハ]ナ カ	「鼻か」

(木部 2012: 81 発表者一部変更)

N型アクセントのドメイン (鹿児島市方言)

ha[na]=ga

「鼻が」

名詞

格助詞
取り立て

アクセント

[ha]na=zya

「鼻だ」

名詞

コピュラ
終助詞

アクセント

尾前方言における最小語制約ドメイン

(26) **me=ni** **kitara**

目=DAT

来たら

「目（の方）に来たら」

名詞

格助詞
取り立て

(27) **zii=yo**

字=SFP

「字だよ。」

名詞

コピュラ
終助詞

N型アクセント
方言

アクセント

アクセント

尾前方言

最小語制約

最小語制約

6. おわりに

後続する接語の種類

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コピュラ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

修飾要素の有無

	修飾要素なし		修飾要素あり	
	×	○	×	○
格助詞	154	4	95	2
取り立て助詞	34	7	82	2
コピュラ	0	2	10	0
終助詞	0	3	4	1

格助詞・取り立て助詞は参照領域内にある

(9) **me=ni** **kitara**

目=DAT

来たら

「目（の方）に来たら」

1モーラ
名詞

格助詞
取り立て

最小語制約

(12) **zii=yo**

字=SFP

「字だよ。」

1モーラ
名詞

コピュラ
終助詞

最小語制約

修飾要素は参照領域内にある

(15) **zii=yo**

字=SFP

「字だよ。」

1モーラ
名詞

コピュラ
終助詞

最小語制約

(16) **hotokeisi=no** **zi=yo**

墓石=GEN

字=SFP

「墓石の字だよ。」

修飾要素

1モーラ
名詞

コピュラ
終助詞

最小語制約

熊本市方言でも 後続する接語の種類が影響を与えているかも

			修飾要素なし		修飾要素あり	
			×	○	×	○
接語の種類	格助詞	1	1		4	
		2~				
	取り立て助詞	1			1	
		2~				
	コピュラ	1		1		
		2~				
	終助詞	1				
		2~				

(24) hii=da=ken

火=だ=から

「火だから」

サンプル番号43_b_004-2

開始位置 21560

今後の課題：他の九州方言での検証

- 九州諸方言を対象に，接語の種類，モーラ数，修飾要素の有無を統制した調査票調査を行う。

調査票の例（修飾要素なし）

		接語の モーラ数	例文
後続する接語の 種類	格助詞	1	目がかゆい
		2~	目から涙が出る
	取り立て 助詞	1	目は二つある
		2~	目でもなんでもかゆい
	コピュラ	1	（かゆいのは）目だ
		2~	（かゆいのは）目だった
	終助詞	1	（かゆいのは）目か？
		2~	目だよ（bai）

調査票の例（修飾要素あり）

		接語の モーラ数	例文
後続する接語の 種類	格助詞	1	右の目がかゆい
		2~	右の目から涙が出る
	取り立て 助詞	1	右の目は充血している（けど）
		2~	右の目でも左の目でも
	コピュラ	1	（かゆいのは）右の目だ
		2~	（かゆいのは）右の目だった
	終助詞	1	（かゆいのは）右の目か？
		2~	右の目だよ（bai）

参照文献

秋山正次 (1991)「熊本」九州方言学会 (編)『九州方言の基礎的研究 改訂版』226-234. 東京：風間書房.

秋山正次・吉岡泰夫 (1991)『暮らしに生きる熊本の方言』熊本：熊本日日新聞社.

藤本憲信 (2002)『熊本県菊池方言の文法』熊本：熊本日日新聞情報文化センター.

古田万紀子・小川晋史 (2016)「韻律論の中間報告」下地理則・小川晋史・新永悠人・平塚雄亮・坂井美日 (編)『尾前調査班中間報告書宮崎県椎葉村尾前方言簡易語彙集と文法概説』8-33. 東京：国立国語研究所.

Hayes, Bruce (1995) *Metrical Stress Theory*. Chicago: The University of Chicago Press.

上村孝二 (1983)「九州方言の概説」飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一 (編)『九州地方の方言』1-28. 東京：国書刊行会.

鎌田寧々 (2020)「石川県旧能都町地域の名詞のアクセント」『東京大学言語学論集』42: 105-116.

参照文献

- 木部暢子 (2000)『西南部九州二型アクセントの研究』東京：勉誠出版.
- 木部暢子 (2012)「西南部九州2型アクセントの特性の比較 一助詞・助動詞のアクセントを中心として一」『音声研究』16 (1): 80-92.
- 松岡葵 (2021)「福岡県柳川市方言の文法概説」修士論文，九州大学.
- McCarthy, John and Alan Prince (1986) Prosodic morphology. Unpublished ms., University of Massachusetts, Amherst & Brandeis University.
- 中村京介 (2019)「長崎県宇久島野方方言の文法概説」修士論文，東京外国語大学.
- 下地理則(2016a)「音素論と形態音韻論の中間報告」下地理則・小川晋史・新永悠人・平塚雄亮・坂井美日（編）『尾前調査班中間報告書宮崎県椎葉村尾前方言簡易語彙集と文法概説』7-14. 東京：国立国語研究所.
- 上野善道 (2012)「N型アクセントとは何か」『音声研究』16 (1): 44-62.
- 湯川恭敏 (2004)『熊本市方言調査報告』熊本：熊本大学社会文化科学研究科言語学研究室 .